

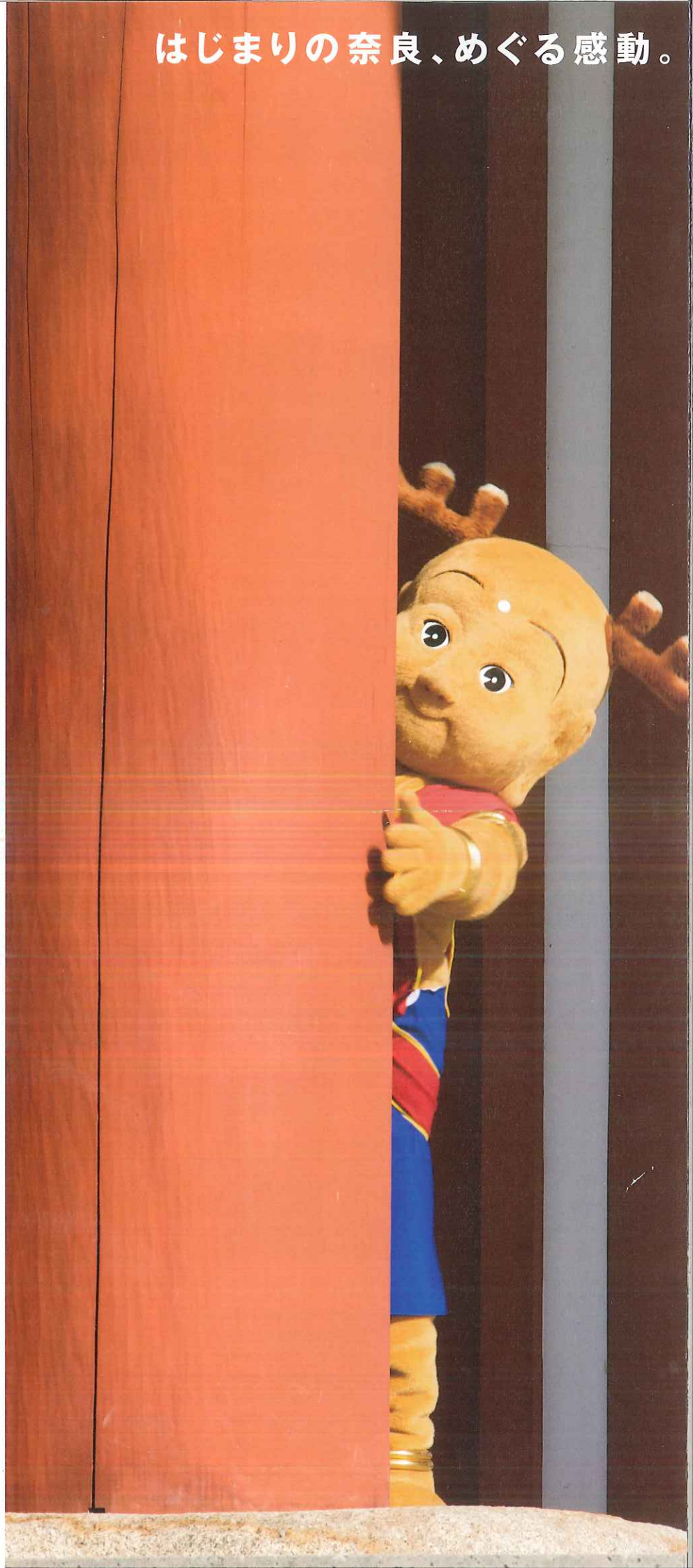
はじまりの奈良、めぐる感動。

平城遷都 1300年祭

2010年1月1日～12月31日 奈良県内各地
(平城宮跡事業4月24日～11月7日)



平城遷都
1300年祭





平城遷都 1300年祭

【会期】

平成22(2010)年1月1日～12月31日
平城宮跡では、4月24日～11月7日

【会場】

平城宮跡(主会場)、
奈良県内、関西等の各地

2010(平成22)年は、
我が国の本格的な首都「平城京」が
誕生してから1300年にあたります。
これを記念し、平城京誕生の地である
奈良県を中心に、平城遷都1300年祭を
開催いたします。

日 本の歴史・文化が連続と続いたことを
“祝い、感謝する”とともに、“日本のはじまり奈良”を素材に、
過去・現在・未来の日本を“考えます”。

平 城遷都1300年祭の中核として、「平城遷都1300年記念祝典」、
「東アジア未来会議 奈良2010」を展開し、国内外の幅広い賛同と
参加のもとで国家的・国民的事業として展開します。

我 が国と諸外国との交流促進に寄与するとともに、
奈良全体を国際的な歴史文化観光拠点として
発展させる契機とします。



はじまりの奈良、 めぐる感動。

第一次大極殿正殿が完成・公開される平城宮跡を中心会場に、
県内各地において、多様な主体の参加を得て、
平城遷都1300年を祝祭する様々な記念イベントを展開します。
飛鳥・藤原京から平城京にいたる時代をはじめ、
奈良県全域に重層的に分布する古代、中世、
近世等の歴史・文化資源や豊かな自然環境などを生かして、
東アジア各地をはじめ、国内外の人々が集い、
交流する場や機会をつくりだすとともに、
県内を楽しく周遊・探訪できるルートづくりを進めます。



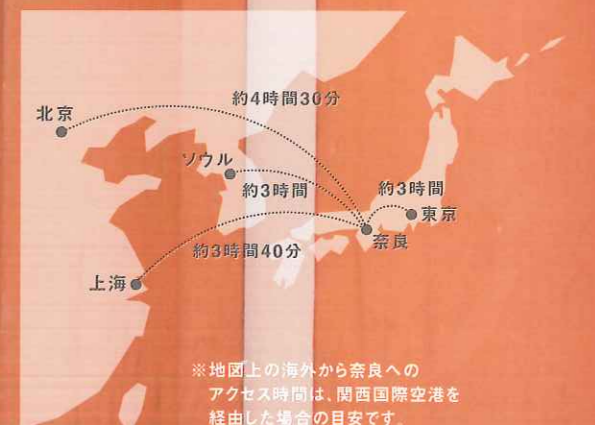
平城遷都1300年祭スケジュール

平城宮跡をはじめ、県内各地では季節に応じた恒例行事に加え、
平城遷都1300年を記念したイベントを展開。1年中、奈良の魅力を見つけられます。

2010年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平城宮跡事業				花と緑のフェア 春季 4月24日～5月9日	光と灯りのフェア 夏季 8月20日～8月27日			平城京フェア 秋季 10月9日～11月7日				
	通季 4月24日～11月7日											
巡る奈良事業	オープニング 県内各地・平城京周辺 1月1日～12月31日											
	秘宝秘仏公開			冬季公開			春季公開			秋季公開		
連携事業	斑鳩・信貴山			飛鳥・藤原			吉野			葛城		
				大和高原・宇陀			緑化フェア					
歩っコリング(ウォーク・マラソン・サイクリング)												
特別展覧会												

アクセス

日本へは北京から約3時間20分、上海より約2時間30分、韓国のソウルからは約1時間50分で到着できます。奈良県へは大阪府中心部から約30分、東京から約3時間でアクセス可能。中南和方面への観光など、奈良県内の移動は、バスや電車等の公共交通機関が便利です。



※地図上の海外から奈良へのアクセス時間は、関西国際空港を経由した場合の目安です。

平城宮跡

2010年4月24日～11月7日

1300年の時空を超えて、平城京の歴史文化をまるごと体験・学習。

我が国を代表する文化遺産「平城宮跡」を舞台に、古代からの友好的な国際交流にも焦点を当てながら、平城京の歴史・文化や国づくりにかける情熱に感動的に出会い、参加体験できる様々な展示・催事を展開します。

1 平城宮跡資料館



発 掘で出土したさまざまな遺物や、建物の復原模型などが展示されています。1300年祭の開催に合わせて、展示等が一部リニューアルされ、解説ボランティアによる案内もあります。

●写真提供：奈良文化財研究所

2 第一次大極殿正殿・前庭

大 極殿正殿は、政治・儀式の場となっていた建物です。この大極殿正殿が文化庁により復原整備され、1300年祭の開催に合わせて、一般に公開されます。建物内部が見学でき、当時天皇が座った玉座「高御座」の実物大模型なども展示されます。解説ボランティアによる案内があり、前庭では天平衣装を着て記念写真を撮ることもできます。



3 遺構展示館

発 掘で見つかった遺構をそのまま見ることができ、解説ボランティアによる案内もあります。平城宮跡に関する各種展示も行われており、1300年祭の開催に合わせて、展示等が一部リニューアルされます。



4 平城京なりきり体験館



天 天平衣装を着て平城京VR映像による合成写真を撮ったり、木簡を使った往時の仕事体験や奈良ゆかりのものづくり体験を楽しむことができます。また、インストラクターの解説で疑似発掘を体験できるコーナーもあります。



5 交流広場

国 内外の平城京ゆかりの地域や県内市町村・団体、一般参加などによるステージイベントや展示・物販などが楽しめます。ここを拠点に、伎楽や散楽などの古代芸能に因んだパフォーマンスが宮跡内各所を練り歩きます。飲食・土産店や案内サービスなども充実、お弁当を食べることのできる休憩所もあります。



6 平城京歴史館／遺唐使船復原展示

平 城京歴史館では、往時の都の姿を最先端のVR技術で再現するシアターや、遺唐使の活躍をドラマチックに再現するシアター、東アジアとの交流や平城京の暮らしなどに焦点を当てたテーマ展示が楽しめます。また、平城京歴史館と一体で、遺唐使船を原寸大に復原展示、甲板への乗船体験や天平衣装を着て記念写真を撮ることもできます。



7 エントランス広場



団 体バスや駅シャトルバスなどの発着場所となるメインエントランス。奈良土産・飲食店や案内所が並び、解説ボランティアが案内する「平城宮跡ガイドツアー」の受付センターがあります。ガイドツアーには、修学旅行や遠足でクラス単位の参加（要予約）もできます。

8 朱雀門広場



朱 雀門は平城宮の正門。奈良時代、広場では、外国使節の送迎や、時には大勢の人達が集まって歌垣なども行われていました。1300年祭では、解説ボランティアによる案内があるほか、毎日時間を決めて、朱雀門を守っていた衛士の様子を再現アトラクションとして行います。

9 東院庭園広場

復 原された東院庭園の見学ができ、解説ボランティアによる案内もあります。東院庭園は、天皇の宴遊の場で、建物は遺構にもとづいて復原され、庭園は石組など遺構の一部も見せながら整備されています。

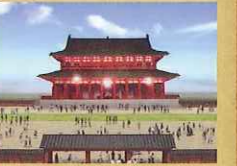


特別記念行事

◆ 大極殿完成記念式典【4月後半】

◆ 平城遷都1300年記念祝典【10月前半】

大極殿前庭を会場に、国内外の賓客や関係者などをお迎えして開催。1300年の歴史をお祝いし、将来に向けたメッセージ「平城京宣言」を発信。



各季フェア開催(春・夏・秋)

春季 花と緑のフェア 4月24日～5月9日

- 平城宮跡の各所を花と緑で飾り演出。
- 奈良時代の歌垣を現代風のステージイベントにアレンジした平成の歌垣「花夢絵巻」。
- 恒例の「平城遷都祭」を特別バージョンで開催。



夏季 光と灯りのフェア 8月20日～8月27日

- 平城宮跡内での幻想的な光と灯りの展示や演出、奈良の伝統行事をモチーフにした灯りのパレード。
- 第一次大極殿正殿や朱雀門等のライトアップ。
- 多彩なアーティストが出演する夕涼みコンサート。



秋季 平城京フェア 10月9日～11月7日

- 第一次大極殿正殿前庭での著名なアーティストによる特別ステージ「大極殿音絵巻」。
- 東院庭園での古楽器等のコンサート「東院庭園音絵巻」や天平茶を提供する「天平茶会」。
- 平城宮跡の各所での古代行事の再現。(射礼、騎射、相撲節会、蹴鞠、曲水の宴、平城散楽)
- 平城宮跡内での参加型イベント「平城京ミステリークエスト」やフィナーレを飾る「平城京カーニバル」。



サービス・会場施設



電動トラム

高齢者、障害者の方などが広い会場を快適に移動できるよう、電動トラム・カートを運行します。

平城宮跡会場では、車いすの貸し出し、手話通訳、外国語通訳などのサービスもご用意しています。

電動カート

会場アクセス

主要駅からのアクセス(駅シャトルバス)

近鉄大和西大寺駅南口、JR奈良駅西口から無料シャトルバスを運行します。

歩行動線

近鉄大和西大寺駅南口から平城宮跡会場まで、安全な歩行ルートを確認します。

団体バス乗降場

修学旅行や団体ツアーのバスに対応するバス乗降場を設置します。

郊外臨時駐車場からのアクセス(パーク&バスライド)

各季フェア期間中、会場西・北・南の各方面に郊外駐車場を設置。駐車場からは無料シャトルバスを運行します。

奈良公園、西ノ京とのバス・サイクルネットワーク

バス、自転車による周辺ルートなど、奈良の観光情報を平城宮跡会場の案内所で提供します。

※施設・展開場所等は、計画段階のもので、画像はイメージです。

パソコンでも情報を発信! ▶▶▶ <http://www.1300.jp/>

巡る奈良

2010年1月1日～12月31日

奈良県各地の魅力を満喫できる多彩な展開。

県内各地の歴史、文化、自然等の資源を生かして、四季を通して、訪れる人々が奈良の多彩な魅力を堪能し、県内を楽しく周遊・探訪できる仕組みやルートづくりを進めます。



国宝巡礼奈良まほろば手帳で巡る

「周遊で癒される心の交流」

日本で最大規模を誇る、奈良の国宝を快適に巡るルートをコンパクトな冊子に集約。奈良の奥深さや精神性を存分に体感していただける新しい奈良の旅がスタートします。

- ◎ポケットタイプの冊子で国宝等を順番に巡る30のコース
- ◎季節ごとに提供するイベントカレンダーマップ



【四神】を巡る — 奈良まほろば回廊 —

社寺・国宝を巡る

「悠久の歴史との対話」

フェノロサも感動した奈良の国宝や重文の秘宝・秘仏などが、「祈りの回廊」奈良大和路秘宝・秘仏特別開帳と題して、50以上の社寺で特別に公開されます。「冬」「春」「秋」に集中して県内各地で、全国初の取り組みとして展開します。

- ◎創建以来初、10数年ぶりの開帳 など
- ◎その他工芸品、模絵、名勝庭園などの公開
- ◎住職などによる社寺での特別講話 など

古道を巡る

「歩っこリング」しよう

飛鳥、藤原、平城京の三都、世界遺産などを巡る魅力的なウォークやマラソンを開催し、心のふるさと奈良をゆっくり味わっていただきます。

- ◎奈良・大阪歴史街道リレーウォーク (5月1日)
- ◎三都の歴史探訪ウォーク (5月7-8日)
- ◎大和路まほろばスリーデーウォーク (10月1-3日)
- ◎第54回全国サイクリング大会 (10月2日～3日)
- ◎平城遷都1300年記念「奈良マラソン2010」(12月頃)

花と自然を巡る

「心まで潤う自然浴」

花があふれ緑豊かな地域で、四季の奈良を満喫していただきます。山岳信仰と霊場の神秘的な地「吉野」においては、大台ヶ原や大峰山に代表される山や溪谷などの豊かな自然や温泉で、心身を癒していただけます。

- ◎やまと花ごよみ2010 (第27回全国都市緑化ならフェア) 時期: 2010年9月18日～11月14日 場所: 馬見丘陵公園(河合町) など
- ◎社寺、公園、街道、万葉の花巡り
- ◎各地の温泉巡り など

北
玄武

平城京周辺

悠久のときを重ねて未来に繋ぐ賑わい

世界遺産「古都奈良の文化財」を中心に、連続と続く伝統行事や多彩な歴史・文化的イベント、新しい奈良を演出するイベントなど、魅力ある奈良を堪能できる取り組みを展開します。

オープニング1月1日 奈良公園【奈良市】

斑鳩・信貴山周辺

日本人の心のよりどころ 「和の精神」

世界遺産「法隆寺地域の仏教建造物」をはじめ、いにしへの歴史資源が点在する地域において、聖徳太子ゆかりのツアーや日本人の心の源流「和の精神」を見つめ直すセミナーなどを展開します。

オープニング1月1日 朝護孫子寺【信貴山】

葛城周辺

古代王朝の神話や 古道にロマンを体感

古代王朝が伝承される葛城地域の歴史をたどるウォークイベントや役行者に関するフォーラムなどを開催し、悠久の神秘とロマンを体感出来る機会を提供します。

吉野周辺

五感に浸る静謐な自然と神秘性

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」をはじめ、豊かな自然、歴史文化あふれる神秘的な地において、源流体験巡りや自然・環境の大切さについて考えるフォーラムなどを展開します。

オープニング1月1日 金峯山寺【吉野山】

東
青龍

大和高原・宇陀周辺

古い町家と心なごませる里山風景

のどかな自然や伝統文化に触れ、歴史情緒あふれる街道めぐりツアーや工房での創作体験など、ゆったりと楽しむ機会を提供します。

オープニング1月1日 室生寺【宇陀市】

飛鳥・藤原周辺

歴史的風土が育んだ 香り高き万葉のふる里

「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」や卑弥呼などロマンあふれる万葉の地において、春の神武祭に合わせたパレードや国際芸能フェスティバルなどの、悠久の歴史を満喫することができる行事を実施します。

南
朱雀

歴史・文化を巡る

「奈良が伝えるアジアとの交流」

日本人の心のふるさと奈良にふさわしいテーマで、様々な特別企画展を開催します。1300年の歴史、文化を刻む奈良で、日本の源流の魅力を堪能して下さい。

- ◎大遣唐使展【奈良国立博物館】 (4月3日～6月20日)
- ◎シルクロード～奈良への道 平山郁夫展【奈良万葉文化館】 (4月17日～5月30日)
- ◎大唐皇帝展【奈良唐文化研究所 附属博物館】 (4月24日～6月20日)
- ◎キトラ古墳壁画四神特別公開【奈良文化財研究所 飛鳥資料館】 (5月15日～6月13日)
- ◎海をわたってきた花と鳥【奈良美術館】 (9月28日～11月14日)
- ◎第9回国際書法交流奈良大展【奈良県文化会館】 (10月14日～19日)
- ◎正倉院展【奈良国立博物館】 (10月下旬～)
- ◎平城遷都1300年を語る天平の研究センター 大安寺と図書情報館展【奈良図書情報館】 (11月23日～12月5日) など

賑わい・伝統行事を巡る

「奈良を彩る年中行事の魅力」

奈良には1300年の歴史に培われた地域の様々な特性が、伝統行事として伝承されています。一方、新しいイベントのうねりも奈良の各地で生まれています。多彩な賑わいを見せる奈良を体感してください。

- ◎若草山山焼き【奈良市】 (1月23日)
- ◎砂かけ祭り【廣瀬神社】 (2月11日)
- ◎二月堂お水取り【東大寺】 (3月1-14日)
- ◎神武天皇祭【橿原神宮】 (4月3日)
- ◎聖来迎練供養会式【當麻寺】 (5月14日)
- ◎開山忌舎利会【唐招提寺】 (6月5-6日)
- ◎蛙飛び【金峯山寺】 (7月7日)
- ◎なら燈花会、バサラ祭り【奈良市】 (8月)
- ◎飛鳥光の回廊・彼岸花祭り【明日香村】 (9月)
- ◎題目立【八柱神社】 (10月12日)
- ◎御所まちなみ祭【御所市】 (11月14日)
- ◎春日若宮おん祭り【奈良市】 (12月17日) など

写真提供:長谷寺、入江泰吉記念奈良市写真美術館、奈良市観光協会、社団法人奈良県観光連盟

特別行事

奈良と世界に、新たな交流が生まれます。

平城遷都1300年祭の中核事業として展開する「東アジア未来会議 奈良2010」をはじめ、各種コンベンション・フォーラムを誘致、開催するとともに、古京ゆかりの各地等との連携イベントなどを県内外で実施します。

一歴史的コンベンションがつぎつぎ開催一

東アジア未来会議 奈良2010

日本や東アジアの望ましい未来の構想に資するため、2010年に奈良で開催される各種国際会議等の成果を活用し、「平城京レポート」として国内外に発信します。

◆東アジア地方政府会合

東アジア地域の安定的発展と友好と信頼の構築を目指し、日本・中国・韓国の地方政府が中心となり、各国地方政府の課題について討議します。

◆世界宗教者平和会議40周年記念事業

世界の諸宗教者が宗教の違いを超えて、平和を推進するメッセージを国内外に発信します。

◆APEC観光大臣会合（誘致中）

APEC各地域の観光大臣が集まり、観光交流促進や観光産業の発展などをテーマに会合を開きます。

◆日本と東アジアの未来を考える委員会

日本を代表する各分野の有識者が、日本と東アジアの目指すべき進路を構想します。

◆第12回世界歴史都市会議

歴史都市という共通の絆で結ばれた都市の代表者や専門家が、抱える課題の解決に向けた情報交換などの交流を図ります。

◆東アジア比較文化国際会議

歴史的関係の深い日本・中国・韓国の大学等の研究者が、「東アジア」の視点から三国の文化を比較研究する国際会議。



各種コンベンション・フォーラム

奈良が生み育んだ歴史と国際色豊かな文化を再発見し、世界平和に向けた国際交流について考えます。

◆日本ベンクラブ「平和の日」の集い

作家や著名人が、言論の自由や国際的交流を踏まえトークを展開し、平和の推進を唱えます。

◆国際文化フォーラム

文化人・アーティストが集い、「文化の多様性」をテーマに講演やレセプションを行います。

◆第2回NARA万葉世界賞贈呈式・記念シンポジウム

万葉集に関する学術・文化の功労者を顕彰し、日本文化の再発見と新たな文化創造を図ります。

◆万葉集1250年記念シンポジウム

万葉集の完成から1250年を記念して、万葉人の心を理解し、日本の未来を探るシンポジウムを開きます。

◆日本ユネスコ運動全国大会in奈良

国内のユネスコ活動関係者が一同に会し、その活動を周知するとともに、平和の推進をメッセージします。

全国ゆかりの地とのネットワーク事業

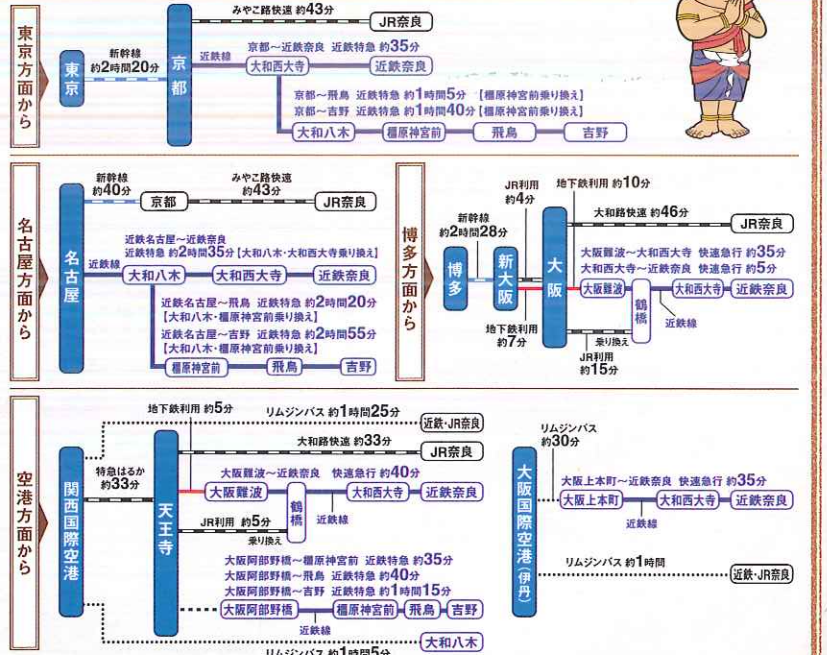
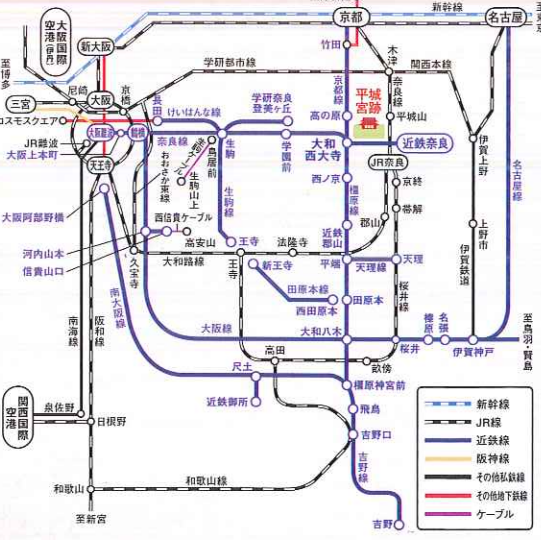
平城遷都1300年祭をきっかけに、関西をはじめ全国にある平城京ゆかりの地で開催されるイベントと連携し、より深い友好交流のネットワークを築き上げます。

海外でのイベント展開

上海国際博覧会日本館での出展、韓国・忠清南道で開催される「大百済典」との連携など、東アジアのゆかりの地でイベントを展開します。

交通アクセスガイド

平城遷都1300年祭
 【会期】平成22(2010)年1月1日～12月31日 平城宮跡では、4月24日～11月7日
 【会場】平城宮跡(主会場)、奈良県内各地



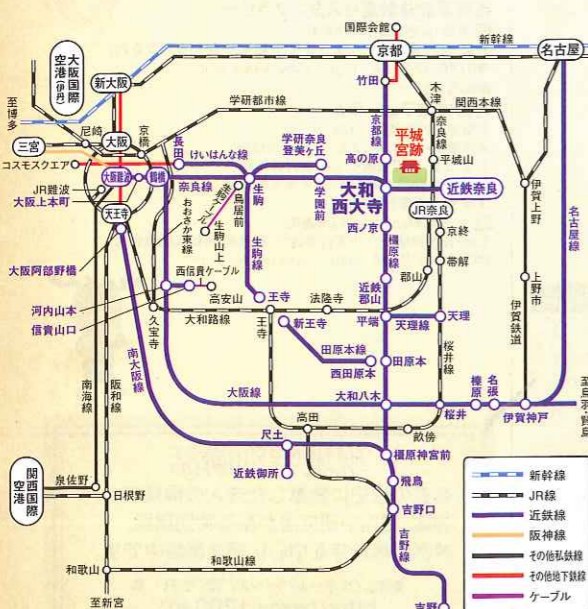
平城宮跡会場までのアクセス 【公共交通機関の場合】◎近鉄大和西大寺駅南口より徒歩10分。◎JR奈良駅、近鉄奈良駅より近鉄大和西大寺駅行バスにて「佐紀町」停留所下車。
 ※平城宮跡事業開催期間中(2010年4月24日～11月7日)は、最寄り駅の近鉄大和西大寺駅南口、JR奈良駅西口から平城宮跡会場まで無料シャトルバスを運行します。

【平城遷都1300年祭 協力企業・団体】

- 株式会社南都銀行 株式会社森精機製作所 近畿日本鉄道株式会社・同グループ
- 大和ハウス工業株式会社 西日本旅客鉄道株式会社 横河電機株式会社
- 株式会社近鉄百貨店 奈良県農業協同組合 株式会社明電舎
- アクサ生命保険株式会社 株式会社アセス 大阪ガス株式会社 株式会社奥村組 株式会社オンワードホールディングス 関西電力株式会社 キヤノン株式会社
- 近畿日本ツーリスト株式会社 株式会社近鉄ホテルシステムズ シャープ株式会社 ダイキン工業株式会社 日産自動車株式会社 大同薬品工業株式会社
- 大和証券株式会社 株式会社竹中工務店 トヨタ自動車株式会社 奈良県遊技業協同組合 奈良交通株式会社・同グループ
- 奈良トヨタ自動車株式会社・同グループ 西日本電信電話株式会社 日興コーディアル証券株式会社 野村證券株式会社 パナソニック株式会社

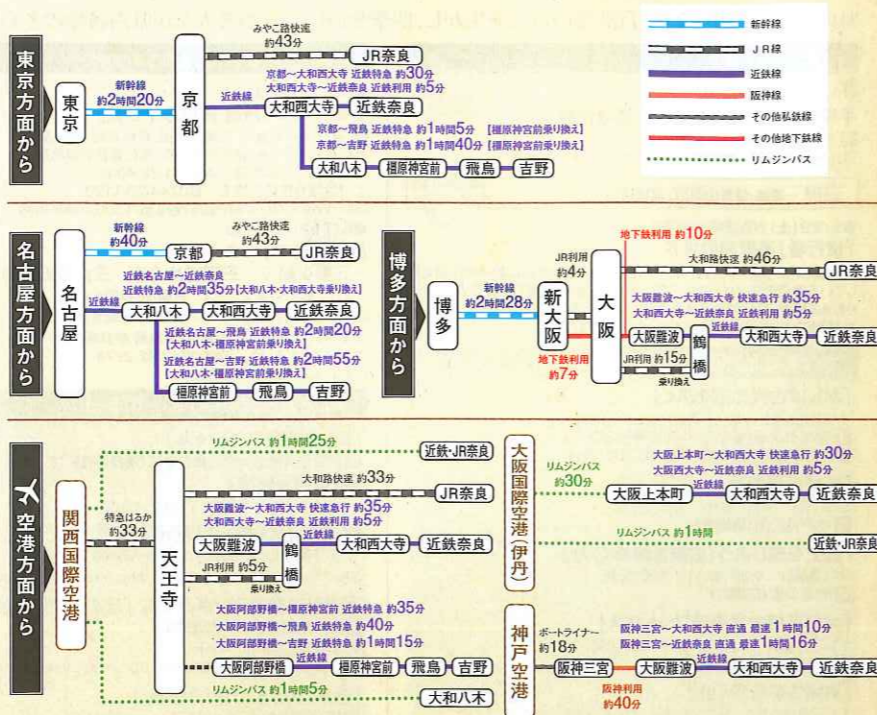
※平成21年12月現在、一定額以上の資金協力者(内諾含む)を記載しております。

平城遷都1300年祭
 【会期】平成22(2010)年1月1日～12月31日 平城宮跡では、4月24日～11月7日
 【会場】平城宮跡(主会場)、奈良県内各地



平城宮跡会場までのアクセス

【公共交通機関の場合】◎近鉄大和西大寺駅南口より徒歩約10分。詳細は平城宮跡会場アクセスをご覧ください。
 ※平城宮跡事業開催期間中(2010年4月24日～11月7日)は、最寄り駅の近鉄大和西大寺駅南口、JR奈良駅西口から平城宮跡会場まで無料シャトルバスを運行します。



平城遷都1300年祭
 公式ガイドBOOK

ダイジェスト版 Vol.2 2010年4～6月

TAKE FREE
 ご自由にお持ち帰りください

平城宮跡会場
 4月24日オープン
 (4月24日～11月7日)

第一次大極殿

朱雀門の真北約800mに堂々とそびえる「大極殿」。正面約44m、側面約20m、地面より高さ約27m。直径70cmの朱色の柱44本、屋根瓦約9万7000枚を使った平城宮最大の宮殿であり、その建物は奈良時代の中頃に、一時都とした恭仁(くに)宮に移築され、山城国の国分寺金堂になりました。当時、天皇の即位式や外国使節との面会など、国のもっとも重要な儀式のために使われていました。



- ◆実施期間/4/24～11/7
- ◆所要時間/30分
- ◆入場料金/無料

平城遷都1300年を記念して二つの「巡る」冊子を発売

- 1 国宝巡礼奈良まほろば手帳
- 2 せんとくんクーポン 設定時期:2010年1月～12月

国宝をポケットサイズの冊子で紹介。仏像や宝物を今に受け継ぐ奈良ならではのコース満載。
 ◆販売価格:300円(旅行代理店などで販売)

奈良観光に便利でお得な周遊クーポン
 ◆平城宮跡会場2ヶ所での無料券と県内73施設の割引券付。
 ◆販売価格:大人1,010円/2,010円(金券付き)
 ◆販売箇所:旅行代理店、交通事業者など

「国宝巡礼奈良まほろば手帳」と「せんとくんクーポン」のおトクなセット

せんとくんクーポン 1,010円+300円が	せんとくんクーポン 2,010円+300円が
1,200円	2,200円(金券付き)

数量限定

平城遷都1300年祭 協力企業・団体

- 株式会社南都銀行 株式会社森精機製作所 近畿日本鉄道株式会社・同グループ
 大和ハウス工業株式会社 西日本旅客鉄道株式会社 横河電機株式会社
 株式会社近鉄百貨店 奈良県農業協同組合 株式会社明電舎
- アクサ生命保険株式会社 株式会社アセス 大阪ガス株式会社 株式会社奥村組 株式会社オンワードホールディングス 関西電力株式会社
 キヤノン株式会社 近畿日本ツーリスト株式会社 株式会社近鉄ホテルシステムズ 三和ゴム工業株式会社 シャープ株式会社 住友金属工業株式会社
 ダイキン工業株式会社 ガイドードリンク株式会社 大同薬品工業株式会社 大和証券株式会社 株式会社竹中工務店 株式会社電通 東海旅客鉄道株式会社
 トヨタ自動車株式会社 奈良県遊技業協同組合 奈良交通株式会社・同グループ 奈良トヨタ自動車株式会社・同グループ
 西日本電信電話株式会社 日興コーポリアル証券株式会社 野村證券株式会社 パナソニック株式会社

大塚ホールディングス株式会社 有限会社O・T・S 株式会社大林組 株式会社きんでん コカ・コーラウエスト株式会社 三和製粉工業株式会社
 一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会 セコム株式会社 大成建設株式会社 凸版印刷株式会社 社団法人奈良県部落解放企業連合会・奈良県中小企業連合会
 株式会社南都興産・株式会社リバーズ 日本製菓団体連合会 日本たばこ産業株式会社 日本電気株式会社
 社団法人日本民営鉄道協会 阪神電気鉄道株式会社 富士通株式会社 社団法人不動産協会

など、企業・団体 409、個人 55 (2010年1月31日現在)

◆一定額以上の資金協力者(内訳含む)を記載しております。この他にも、ホームページに一覧を掲載しております。

◆詳しい情報はWEBで!
 平城遷都1300年祭公式ホームページ <http://www.1300.jp/>



平城宮跡を
 もっと楽しむ

- 平城宮跡資料館 土器や瓦、木簡をはじめ、建物模型や航空写真、発掘のジオラマ模型などで平城宮を分かりやすく展示。
 ◆実施期間/4/24～11/7 ◆所要時間/60分 ◆入館料金/無料
- 遺構展示館 発掘調査で見つかった遺構をそのまま見ることができます。内裏や役所の復元模型を展示。
 ◆実施期間/4/24～11/7 ◆所要時間/30分 ◆入館料金/無料

平城京歴史館/遺唐使船復元展示

- 平城京VRシアター 外国使節団が見た平城京をコンセプトに、往時の都の姿を最先端VR技術により再現します。
- 遺唐使船復元展示 全長約30m、マスト高約15m。当時の国際交流の象徴的存在である遺唐使船を原寸大に復元、展示します。
- テーマ展示 大陸との交流により発展した我が国の国づくりの歴史や往時の文化・暮らしに焦点を当てたテーマ展示。
- 遺唐使シアター アニメーションなどを駆使して、遺唐使の歴史や渡航の様子をドラマチックに再現します。

◆所要時間/約60分
 ◆開館時間/9:00～最終入館16:00(春夏フェア期間及び4～8月の土日祝は17:00)
 ◆入館料金/一般500円(400円)、高校・大学生250円(200円)
 小・中学生200円(150円) ※()書き:団体料金(20名以上)



平城遷都1300年記念事業

2010年は、我が国の本格的な首都「平城京」が誕生してから1300年にあたります。これを記念し、2010年の一年間、平城遷都1300年祭を開催します。

平城宮跡を中心会場に、奈良県内各地で、東アジアとの交流イベントを始めとする多彩なイベントの他、秋には「平城遷都1300年記念祝典」を予定しております。

関連イベント	名称	場所	日時	連絡先
平城宮跡事業	平城京歴史館・遣唐使船復原展示	平城宮跡エントランス広場南側	4月24日～11月7日(出展参加・紹介は上記のうち一部期間) 9:00～16:30	平城遷都1300年記念事業協会 0742-25-2010 (コールセンター)
	海外ゆかりの地から平城宮跡会場への出展参加	平城宮跡交流広場交流ホール	※春季フェア(4月24日～5月9日)、夏季フェア(8月20日～27日)期間中及び8月31日までの土日祝は9:00～17:30	
	海外(中国・韓国などの)民族芸能や音楽の紹介	平城宮跡交流広場まほろばステージ		
東アジア関連特別展覧会	平城遷都1300年記念 大遣唐使展	奈良国立博物館	4月3日～6月20日	奈良国立博物館 050-5542-8600
	平城遷都1300年記念 春季特別展「大唐皇帝陵展」	奈良県橿原考古学研究所附属博物館	4月24日～6月20日	橿原考古学研究所附属博物館 0744-24-1185
	「平城遷都1300年記念特別展 シルクロード—奈良への道 平山郁夫展」	奈良県立万葉文化館	4月17日～5月30日	奈良県立万葉文化館 0744-54-1850
	「平城遷都1300年を語る天平の研究センター 大安寺と図書情報館展」	奈良県立図書情報館	11月23日～12月5日	奈良県立図書情報館 0742-34-2111
	第9回国際書法交流奈良大展	奈良県文化会館	10月14日～19日(18日休館)	毎日書道会 06-6346-8375
	「海をわたってきた花と鳥—花鳥画を中心に見た中国・朝鮮半島の美術と日本美術」(仮称)	奈良県立美術館	9月28日～11月14日(予定)	奈良県立美術館 0742-23-3968
海外との連携イベント	上海国際博覧会「21世紀の遣唐使 奈良ウィーク in 上海」の開催(中国)	日本館イベントステージ	7月23日～29日	県国際観光課 0742-27-8553
	大百済典との交流事業(韓国・忠清南道)	忠清南道(韓国)・奈良県(平城宮跡等)	9月18日～10月17日	県国際観光課 0742-27-8477
	奈良・ハノイ悠久の都を紡ぐ 鳥羽美花型染展	日本展(奈良会場):葉師寺 ベトナム展(ハノイ会場):文廟、ベトナム国立美術博物館	日本展:10月5日～11月10日 ベトナム展:12月6日～12月25日	産経新聞社 06-6633-9254 同実行委員会 080-1283-9967
東アジアとの伝統芸能・文化交流イベント	美しき飛鳥まほろばコンサート	国営飛鳥歴史公園石舞台地区	SAP(サップ)	03-5226-8537
	日韓芸能祭		5月15日～16日	
	世界遺産劇場		5月14日～16日	
	東アジア歴史シンポジウム	かしはら万葉ホール	5月22日	コリアンワールド 06-6245-5193

平城遷都1300年記念事業

東アジア 未来会議 奈良2010

INTERNATIONAL FORUM NARA 2010
— FOR THE HARMONIOUS FUTURE OF EAST ASIA —

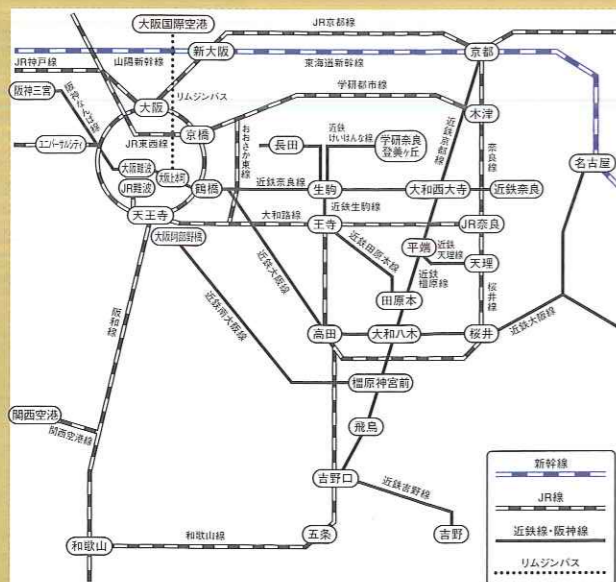
多様な交流から連携へ

东亚未来论坛 奈良2010
동아시아 미래회의 Nara 2010

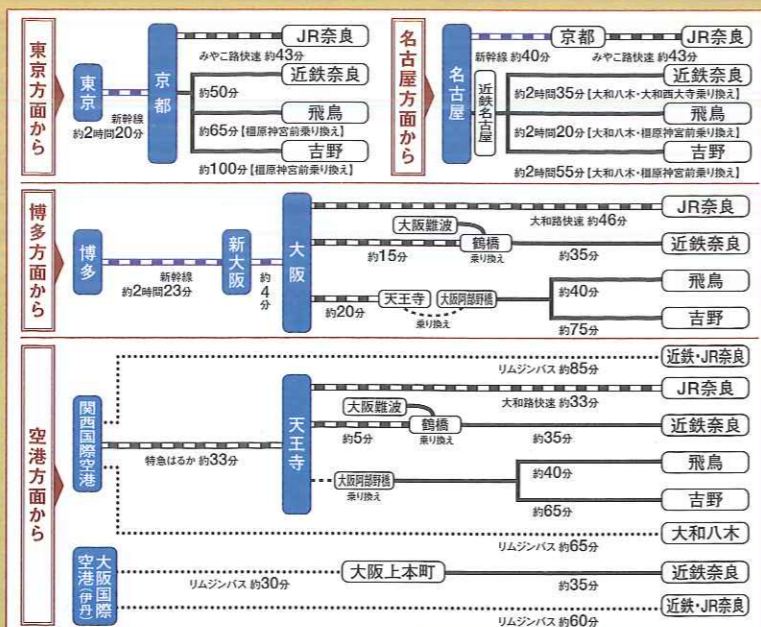


DIALOGUE FUTURE
International Forum NARA 2010
東アジア未来会議 奈良2010

交通アクセスガイド



より詳しいアクセス情報はこちら
▶ http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-1256.htm



奈良県平城遷都1300年記念事業推進局企画課

〒630-8501 奈良市登大路町30

電話 0742-22-1101(代表) http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-8956.htm

弥勒プロジェクト <http://www.miroku-nara.jp/>

※本記載は平成22年2月現在のものので予告なく変更することがあります。



東アジアの未来をつくる。

今、日本と東アジアはとてよく似た問題に直面しています。グローバル化とアジア的多様性が複雑に交差する中で、環境、不況、社会の高齢化、地域間格差等が、一斉に押し寄せています。

このような状況の中で、東アジアとの運動の中から生まれた東アジアの文化的資源を多く残す奈良・平城京が、これらの課題の解決に向けて、日本と東アジアとの「結び目」となるプロジェクト(弥勒プロジェクト)をスタートさせました。

その中心的な取り組みである「東アジア未来会議 奈良2010」は、多様な主体者の会議や会合を行い、その対話から生まれる「知」を日本と東アジアの望ましい将来ビジョンを示す「平城京レポート」として結集します。

전달

東アジア各地の交流を促進し、
多重多層で永続的な協力関係を
結ぶためのシステムや
ネットワークを構想し、
広く提案、提唱していきます。

交流

構想

바람
協力

和谐 現来

いのち



정
정

将来

本来

東アジアの本来あるべき関係性を
現在に招来しながら、
新しい未来を共に築くための
普遍的なメッセージを発信します。

手拉手
心连心

共鸣 共振
梦想实现
統合性

多様性

文化の多様性を生かしたまま
東アジア地域の統合性を
生成する方法を見出し、
複雑性の時代と言われる
21世紀のグローバル社会に
貢献します。

複雑性

東アジアの共通基盤を再確認するとともに、
それぞれの風土が育んだ
歴史文化や生活文化等、
独自の民族文化を理解することによって、
真に共存し共感し
共鳴する関係を構築します。

배움

N A R A S I A

8世紀、日本で初めての本格的な都・平城京は、日本固有の文化の上に、東アジアを窓口として、ユーラシアの多様な文化を受け入れて誕生しました。この時代に、日本は現在に至る国家の基盤を構築し、また、初めて東アジア世界の中に位置づけられました。

今年2010年は、奈良県に平城京が誕生して1300年にあたります。このことから、本県は、平城京への遷都が持つ歴史的、国際的意義を踏まえ、日本の歴史文化の継承を“祝う”「平城遷都1300年祭」と、東アジア諸国への“感謝”とともに未来を“考える”プロジェクトとして、「東アジア地方政府会合」や「日本と東アジアの未来を考える委員会グランドフォーラム」を開催いたします。

そして、さらに多くの方の協力を得て、本年、奈良で開催される国際会議を「東アジア未来会議 奈良2010」としてコーディネートし、今後の日本と東アジアの未来に残す知的資産にしたいと考えております。

同時に、「東アジア未来会議 奈良2010」は、よりよい国際社会の形成に向けて、多くの人々の知と行動を国外に発信する機会になると思います。

皆様のご参加を期待しております。



奈良県知事 荒井正吾

NARASIAとは?

NARASIAとは、世界とアジアと日本と奈良を切り離すべきではないという考えに基づく言葉です。多様性と統合性が複雑に交差しつつある状況のなか、奈良は古代の歴史を背負った奈良自身であって、それとともに多くの社会と将来を共有する「奈良アジア」でもありました。唐招提寺や岡倉天心がアジアにつながっているだけではありません。漢字フォント、海底油田、麻の布、ギターのコード進行、失業対策、チキンナゲット、卓球ラケットにおいて、奈良とアジアは連なっているのです。NARASIAの視点から、平城遷都1300年の時空をまたぐ歴史と文化を、政治と経済を、事件と意匠を見直すことで、日本の本来を見据えながら東アジアの将来を再編集します。

「東アジア未来会議 奈良2010」構成会議

↑ = 参加の募集は行っておりませんのでご注意ください。



第5回日中韓賢人会議[†]

開催概要 | 日本、中国、韓国の政治、経済、学術分野の有識者が、東アジア地域の協力・交流や各国間の諸問題を議論し、人的な交流の輪を広げ、今後の地域融和と問題解決に寄与することを目指します。毎年日本、中国、韓国持ち回りで開催予定。また、第5回会議は平城遷都1300年記念事業の目玉事業と位置づけます。

テーマ | 「日中韓が変える世界」(仮題)
開催日時 | 2010年4月18日(日)、19日(月)
開催会場 | 奈良市内

実施主体 | 日本経済新聞社
連絡先 | 日本経済新聞社
☎03-6256-7178
(国際事業本部)
<http://www.nikkei.co.jp/>



平城遷都1300年記念経済フォーラム

開催概要 | 日本は古代中国を中心とする東アジアの規範を取り入れつつ、独自の風土に根ざした経済社会を育んできました。世界的な経済危機を脱しつつある中で、日本の優れた歴史的方法を見直し、東アジアとの関係性を再編集することで日本と東アジアの展望を拓きます。

テーマ | 未定
開催日時 | 〈東京開催〉2010年5月13日(木) 〈奈良開催〉2010年9月4日(土)(予定)
開催会場 | 〈東京開催〉日経ホール(東京都千代田区大手町) 〈奈良開催〉未定

実施主体 | 奈良県
日本経済新聞社
連絡先 | 奈良県平城遷都1300年記念事業推進局企画課
☎0742-27-5821
<http://www.miroku-nara.jp/>



日メコン古都シンポジウム

開催概要 | 日本とメコン地域諸国の代表が、文化遺産の保護・維持の方針と観光資源としての活用、地域振興の促進といった観点からの各国の経験共有や意見交換を行います。ちなみに、日本はアンコールワットをはじめメコン地域(カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、ベトナム)にある歴史的遺産保護に積極的な役割を果たしています。

テーマ | 文化遺産保護と観光促進
開催日時 | 2010年中
開催会場 | 奈良市内

実施主体 | 外務省(協力:奈良県)
連絡先 | 外務省南東アジア第1課
☎03-5501-8263



ERIAリージョナルネットワークフォーラム

開催概要 | 東アジア地域の経済分野における課題分析、政策の立案及び提言を行う新たな国際的な研究機関、東アジア・ASEAN経済研究センター(ERIA)の構成メンバーが、各国の課題やその解決策に向けたプロジェクトなどを一般に紹介。

テーマ | 未定
開催日時 | 2010年7月
開催会場 | 奈良市内

実施主体 | 東アジア・ASEAN経済研究センター、奈良県
連絡先 | 奈良県平城遷都1300年記念事業推進局企画課
☎0742-27-5821
http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-8956.htm

東アジア未来会議 奈良2010

会議名	開催日程(月)	4月	5月	6月
第5回日中韓賢人会議		18日19日		
平城遷都1300年記念経済フォーラム			13日	
日メコン古都シンポジウム				2010年中(予定)
ERIAリージョナルネットワークフォーラム				
日中韓電子フォーラム				
第3回日中韓文化大臣フォーラム				
APEC観光大臣会合				
世界宗教者平和会議40周年記念事業				
東アジア地方政府会合				
第12回世界歴史都市会議				
日越文化交流フォーラム				
東アジア比較文化国際会議2010年日本大会				
日中友好フォーラム				
日本と東アジアの未来を考える委員会グランドフォーラム				



[女性・子ども]

日中韓電子フォーラム

開催概要 | 日中韓の子どもたちと女性を対象に、インターネットを使ったフォーラムやアンケートを実施し、お互いの未来への夢や希望、歴史や文化、伝統などについての意見交換を行い、日中韓の交流のあり方や未来像を提案していきます。

テーマ | 未定

開催日時 | 2010年7月～9月

開催会場 | オンライン

実施主体 | 奈良県

連絡先 | 奈良県平城遷都 1300 年記念事業推進局企画課
☎ 0742-27-5821
http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-8956.htm



[政府]

第3回日中韓文化大臣フォーラム†

開催概要 | 日本、中国、韓国の文化大臣が一堂に会し、日中韓の文化交流の強化に向けた取り組み等について意見交換をし、合意事項を宣言文としてとりまとめます。

テーマ | 未定

開催日時 | 2010年7月下旬

開催会場 | 奈良県内

実施主体 | 文化庁

連絡先 | 文化庁長官官房国際課 ☎ 03-6734-3110
email int-cul@bunka.go.jp
http://www.bunka.go.jp/



[政府]

APEC観光大臣会合†

開催概要 | APEC 域内の経済発展と人の移動の円滑化を推進することを目的に、APEC 域内の観光交流促進等に向けた政策的な諸課題を話し合い、APEC 加盟エコノミーの観光担当閣僚間でハイレベルな議論を行う場になることを目指します。なお、当会合に先立ち実務者級の APEC 観光ワーキンググループ会合も奈良にて開催する予定。

テーマ | 未定

開催日時 | 2010年9月22日(水)、23日(木・祝)

開催会場 | 奈良市内

実施主体 | 観光庁 (開催支援: 奈良県)

連絡先 | 観光庁参事官室 ☎ 03-5253-8938



[宗教者]

世界宗教者平和会議(WCRP) 40周年記念事業/世界宗教者まほろば大会(仮称)

開催概要 | 世界宗教者平和会議創設 40 周年にあたり、様々な諸課題を抱える世界情勢に鑑み、多様性の尊重や異文化の相互理解をするため、日本の精神である「和・大いなる調和」を見直し、一人ひとりの心の「まほろば～美しき場所～」を再発見し、世界のあらゆる場所が「まほろば」となることを願い、記念事業を企画します。

テーマ | 世界を「まほろば」に～シルクロード終着の地、日本から発信する～

開催日時 | 2010年9月25日(土)～27日(月)

開催会場 | 奈良県新公会堂、奈良県文化会館 (奈良市)

実施主体 | (財)世界宗教者平和会議 日本委員会

連絡先 | (財)世界宗教者平和会議 日本委員会
☎03-3384-2337 (代)
email info@wcrp.or.jp
http://www.wcrp.or.jp/



[地方政府]

東アジア地方政府会合

開催概要 | 奈良とゆかりの深い日本、中国、韓国の地方政府を中心に、東アジアの地方政府のトップが参加し、現在まで連続と続く国家の基礎的枠組みを構築された先人とともに、あらためて東アジア各地への感謝の気持ちを込めて、今後の東アジアの発展の土台を築き、その道筋を確立する契機となる会合を行います。

テーマ | 未定

開催日時 | 2010年10月6日(水)～8日(金)

開催会場 | 奈良市内ホテル、奈良県新公会堂 (奈良市)

実施主体 | 東アジア地方政府会合実行委員会、奈良県

連絡先 | 奈良県平城遷都1300年記念事業推進局企画課
☎ 0742-27-5822
http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-8956.htm



[地方政府]

第12回世界歴史都市会議

開催概要 | 世界の歴史都市がそれぞれ独自の地域文化を継承しつつ、新たな文化を創造していくためにはどうすればいいかを様々な角度から語り合い、歴史都市である奈良市から世界に向けて、平和と共生のメッセージを発信します。

テーマ | メインテーマ「歴史都市の継承と創造的再生」

開催日時 | 2010年10月12日(火)～15日(金)

開催会場 | 奈良県新公会堂、なら100年会館 (奈良市)

実施主体 | 主催: 世界歴史都市連盟 開催市: 奈良市

連絡先 | 奈良市 観光経済部
観光戦略室
観光交流課
☎ 0742-34-1965
email info@wchc2010-nara.jp
http://wchc2010-nara.jp/



[文化]

日越文化交流フォーラム

開催概要 | 日本とベトナムを中心とする東アジア交流の歴史や現状への理解・関心を高め、日本・ベトナム両国外務省などの政府が後援する日越文化交流事業の「鳥羽美花型染展」を企画、また講演会やシンポジウム等も開催します。

テーマ | 1000年と4000年をまたぐ東アジアの夢～日本・ベトナム友好の未来～

開催日時 | 2010年10月16日(土)(展覧会は10月5日(火)～11月10日(水))

開催会場 | 薬師寺 (奈良市)

実施主体 | 奈良・ハノイ悠久の都を紡ぐ鳥羽美花型染展実行委員会、産経新聞社、奈良県

連絡先 | 産経新聞大阪本社事業局
☎ 06-6633-9254



[文化]

東アジア比較文化国際会議 2010年日本大会

開催概要 | 日中韓の文化を貫いた国際交流に寄与するとともに、奈良県の国際社会への貢献に資することを目的とし、歴史的関係の深い日本、中国、韓国の大学等の研究者が、東アジアの文化を三カ国の視点からそれぞれ比較研究をするため、講演会、分科会、そして全体総括を実施します。

テーマ | 平城遷都 1300 年記念国際会議「東アジア世界における新たな文化共同体の構築—日・中・韓の文化に見る普遍性と固有性を巡って—」

開催日時 | 2010年10月23日(土)～25日(月)

開催会場 | 奈良県立万葉文化館(高市郡明日香村)、橿原ロイヤルホテル(橿原市)

実施主体 | 東アジア比較文化国際会議日本大会実行委員会((財)奈良県万葉文化振興財団、社団法人平城遷都 1300 年記念事業協会、東アジア比較文化国際会議日本本部)

連絡先 | 奈良県立万葉文化館 ☎ 0744-54-1850
email soumu@manyo.jp **HP** http://www.manyo.jp/



[文化]

日中友好フォーラム

開催概要 | 平城京の時代を中心とした「文化の伝来」に加え、奈良を空爆から守るのに貢献した「梁思成氏」等、近代における「文化の保持」に中国側の多大な貢献があったことに感謝するため、これを内外に発信するフォーラムを開催します。日中友好及び文化財交流の促進を図り、文化的観点から東アジアの将来像の構築を考察します。

テーマ | 未定

開催日時 | 2010 年秋

開催会場 | 奈良市内

実施主体 | 奈良県、中華社会文化発展基金会 他

連絡先 | 奈良県平城遷都 1300 年記念事業推進局企画課
☎ 0742-27-5821
http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-8956.htm



[有識者]

日本と東アジアの未来を考える委員会グランドフォーラム

開催概要 | 日中韓を中心とする研究者・アーティスト・企業人が集い、「弥勒プロジェクト」および「日本と東アジアの未来を考える委員会」の総括として、トークセッションやパフォーマンスを実施し、日本と東アジアの平和と発展のガイドラインとなる「平城京レポート」を採択・発表します。

テーマ | 未定

開催日時 | 2010年12月18日(土)～19日(日)(予定)

開催会場 | 奈良県文化会館 (奈良市)

実施主体 | 日本と東アジアの未来を考える委員会、奈良県

連絡先 | 奈良県平城遷都 1300 年記念事業推進局企画課
☎ 0742-27-5821
http://www.miroku-nara.jp/

7月	8月	9月	10月	11月	12月
		4日(予定)			
7月(予定)					
	7～9月(予定)				
	7月下旬				
		22日23日 25日～27日			
			6日～8日 12日～15日 16日 23日～25日		
				2010年秋	
					18日19日

コンベンション・フォーラム

名称	概要	場所	日時	連絡先
日本ベンクラブ「平和の日」の集い	作家や著名人が、言論の自由や文化の国際的交流という視点を踏まえつつ、対談を通じて平和の推進というメッセージを発信します。	奈良県文化会館	3月3日	平城遷都1300年記念事業協会 0742-26-0752
第2回NARA万葉世界賞贈呈式・記念シンポジウム	万葉集に関する学術・文化の功労者を顕彰し、日本文化の再発見と新たな文化創造を図ります。	県立万葉文化館	6月27日	県立万葉文化館 0744-54-1850
万葉集1250年記念シンポジウム	万葉集の完成から1250年を記念して、万葉人の心を理解し、日本の未来を探るシンポジウムを開きます。	奈良県文化会館	9月中旬(予定)	県立万葉文化館 0744-54-1850
日本ユネスコ運動全国大会 in 奈良	国内のユネスコ活動関係者が一同に会し、その活動を周知するとともに、平和の推進をメッセージします。	なら100年会館	9月25日～26日	奈良ユネスコ協会 0742-23-7183

東アジア地方政府会合

The East Asia Local and Regional Government Congress

《 概要 》

奈良県



趣 旨

8世紀初頭に誕生した日本最初の首都 平城京は、東アジアを中心とするユーラシア各地のさまざまな文明を受け入れて形成されました。

現在東アジアは、平城京への遷都が行われた当時を彷彿とさせるダイナミックな交流の時代を迎えつつあります。

2010年、平城遷都1300年を迎えるにあたり、現在まで連綿と続く国家の基礎的枠組みを構築された先人とともに、あらためて東アジア各地への感謝の気持ちを込めて、今後の東アジアの発展の土台を築き、その道筋を確立する契機となる取り組みを進めたいと考えています。

このことから、平城遷都1300年記念事業の中核の一つとして、日本、中国、韓国の地方政府を中心とする「東アジア地方政府会合」を開催します。

この会合では、地方政府の代表が地域の実情や課題を忌憚なく報告し合い、共通する課題について議論をするとともに、相互理解を深め合うことを目的としています。

このような会合を継続的に開催することは、地方政府の行政能力を高めるとともに、友好と信頼の関係を深め、さらには国家間の外交を補完して、より平和的な東アジアの発展に貢献できると考えます。



2010年



第1回 東アジア地方政府会合



◆開催期間 2010年（平成22年）10月6日(水)～8日(金)

※平城遷都1300年記念祝典と一体的に開催

◆主 催 東アジア地方政府会合実行委員会、奈良県

◆開催場所 奈良県新公会堂、奈良市内ホテル

◆参加地方政府 . . . 35～40地方政府程度

○現在呼びかけに応じて参加意向を表明している地方政府 ☆印 提唱者

: 中華人民共和国 陝西省☆、西安市☆、河南省☆、洛陽市☆、江蘇省☆、揚州市☆、甘肅省、敦煌市

: 大韓民国 忠清南道☆、公州市☆、瑞山市☆、扶余郡☆、慶尚北道☆、慶州市☆

: インド 市政府

: インドネシア ジョグジャカルタ特別州

: ベトナム ハノイ市、クアンナム省、ホイアン市

: 日本 岐阜県☆、静岡県☆、奈良県☆、奈良市☆、天理市☆、橿原市☆、明日香村☆
青森県、山形県、福島県、新潟市、福井県、三重県、島根県、高知県

○今後さらに複数の国内外の地方政府に呼びかける予定

◆オブザーバー . . . 10機関程度

: 各国大使館又は総領事館

: 総務省、外務省など



2009年



第1回会合開催準備のための「提唱者会合」の実施



◆開催期間 2009年（平成21年）10月25日（日）～28日（水）

◆主催 東アジア地方政府会合実行委員会、奈良県

◆開催場所 奈良市（奈良県新公会堂、ホテル日航奈良）

◆参加地方政府・・・19地方政府（海外12、国内7）

：中華人民共和国 陝西省、西安市、河南省、洛陽市、江蘇省、揚州市
：大韓民国 忠清南道、公州市、瑞山市、扶余郡、慶尚北道、慶州市
：日本 岐阜県、静岡県、奈良県、奈良市、天理市、橿原市、明日香村

◆オブザーバー・・・4機関

：中華人民共和国駐大阪総領事館、大阪大韓民国総領事館、総務省、外務省

◆主要プログラム

①提唱者会議（26日）

：現状と課題の発表（19地方政府）
：東アジア地方政府会合の設立に関する奈良声明の採択
：東アジア地方政府会合奈良憲章の協議

②知事招宴（レセプション）（26日）

③ダイアローグ（27日）

：テーマ：「これからの日本・中国・韓国の交流促進に向けて」
～東アジアの安定と発展の土台を築く～
：発表者：（社）関西経済連合会：松下 正幸副会長
（独）日本貿易振興機構：林 康雄理事長
奈良県：荒井正吾知事
陝西省、河南省、揚州市、扶余郡の各代表

④共同記者会見（27日）



弥勒プロジェクト

～日本と東アジアの未来を考える～

《概要》

奈良県

趣旨

平城京を今に受け継ぐ奈良県は、改めて平城京の意義を検証するため、「平城遷都1300年記念事業」として、日本の国のはじまりを祝う祭典（「平城遷都1300年祭」）とともに、歴史文化の多くが今日まで継承されてきたことに感謝し、改めて日本や東アジアの未来を考える取り組みを進めています。

その取り組みの一つとして、日本の国家創成の気概と方法を未来に生かす「弥勒プロジェクト」をスタートさせています。

これは、往時近隣諸国との関係に気を遣い、国内社会の様々な混乱を收拾して、その後現在まで連綿と続く国家の基本的枠組みを構築した先人に習い、また平城京の時代も含めさまざまな歴史の知恵にも学び、これからの百年を見通して、日本と東アジアが目指すべき進路を構想しようとする取り組みです。

日本と東アジアの未来を考える委員会

「弥勒プロジェクト」の推進に向けて、日本を代表する方々をメンバーとする「日本と東アジアの未来を考える委員会」が設立（2009年1月15日設立）、政治・外交・経済・産業・科学技術・人と文化などの分野で現代社会の課題が議論されています。

その知の成果は、記念書籍やフォーラム、インターネット等を通して随時発信され、2010年には「平城京レポート」というかたちで日本と東アジアの望ましい未来を示す、後世の役に立つ「知恵」として継承されます。

委員長には平山郁夫氏（故人）、委員長代行に川勝平太氏（静岡県知事）、幹事長に松岡正剛氏、事務局長は奈良県知事の荒井正吾がつとめています。

委員会の活動内容

「知」の編集

- ①委員ミーティングの実施
小ミーティング、インタビューを連続的に実施。2010年12月18日～19日（予定）には「日本と東アジアの未来を考える委員会全体会合」を開催。
- ②論文・レポート等の募集
委員に限らず、一般国民も含め広く内外からオピニオンを募る。
- ③国際会議等のアジェンダの活用
2010年に奈良で開催する国際会議を「東アジア未来会議 奈良2010」としてコーディネート。各会議の成果を集約・編集する。



「知」の発信

- ①「平城京レポート」の策定
委員会活動の全成果を「平城京レポート」に集約、東アジアの平和と発展のガイドラインとする。
- ②「平城京宣言」の提案
「平城京レポート」のエッセンスを再編集、「平城遷都1300年記念祝典」（2010年10月）で日本と東アジアの将来アジェンダとして提案する。
- ③フォーラム、記念書籍、インターネットによる情報発信。様々なメディアを活用した継続的な情報発信。



「知」の構築

2011年以降の継続・発展的なプロジェクト推進を図るため、本委員会及び内外の多様な主体者の研究成果や意見を集積、統合化するための人的なネットワークを形成するとともに、「知」の共同化と活用の基盤となるコミュニケーション・システムやアーカイブ・システムの開発を進める。



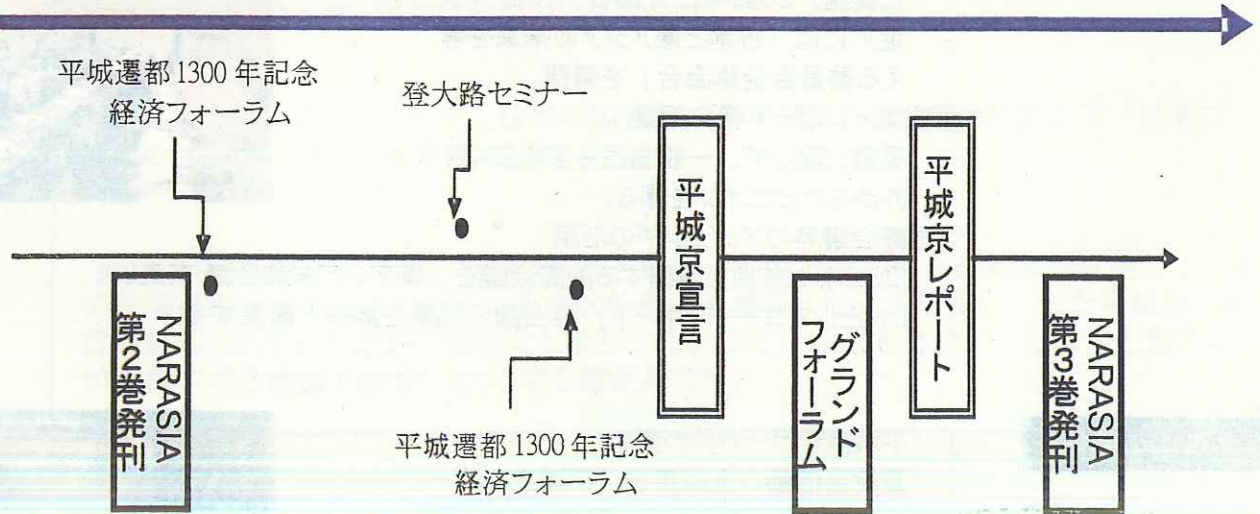
ならコミュニケーションシステム
「NARAcom」

事業スケジュール

国内編年表

2010年度

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3



奈良と東アジアはつながっている。

NARASIA

